

- ① 4と6の公倍数を小さいほうから5つ書きましょう。

\_\_\_\_\_

- ② 12と18の公約数をすべて書きましょう。

\_\_\_\_\_

- ③ 次の問いに答えましょう。

(1) 6と8の最小公倍数 → \_\_\_\_\_

(2) 12と16の最小公倍数 → \_\_\_\_\_

(3) 12と18の最大公約数 → \_\_\_\_\_

(4) 24と36の最大公約数 → \_\_\_\_\_

- ④ ○と×で答えましょう。

(1) 偶数+偶数は必ず偶数である → (    )

(2) 奇数+奇数は必ず奇数である → (    )

(3) 偶数×奇数は必ず偶数である → (    )

ポイント：公倍数・公約数は「共通するもの」を探そう！